

第5回 一関地区広域行政組合
一般廃棄物処理施設整備検討委員会
次 第

日時 令和2年3月25日（水）

午前10時～11時30分

場所 一関市役所3階 特別会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

3月開催予定住民説明会の延期について

4 協 議

- (1) 施設整備基本方針について
- (2) 候補地の絞り込み方法について
- (3) 建設場所の検討状況について
- (4) リサイクル施設の整備方針について
- (5) 視察について
- (6) その他

5 そ の 他

6 閉 会

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設・新最終処分場 新型コロナウイルス感染症対策のため 説明会を延期しました

一関地区広域行政組合(組合)は、昨年12月の説明会に続き、本年3月6日から11日に管内8会場でエネルギー回収型一般廃棄物処理施設(新処理施設)と新一般廃棄物最終処分場(新最終処分場)の整備に関する説明会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、延期しました。

次回の説明会は、新型コロナウイルス感染症への対応状況を踏まえながら、改めて日程をお知らせします。

検討状況をお知らせします ご意見をお寄せください

組合では、新処理施設と新最終処分場の整備について、住民の皆様にご検討状況をお知らせし、ご意見をいただきながら検討を進めることとしています。

3月の説明会で説明を予定していた現時点での検討状況については、この紙面によりお知らせします。お知らせする内容は、次のとおりです。

- 1 施設整備基本方針(案) … 2ページ
- 2 各候補地の建設場所の検討状況 … 3ページ~7ページ
- 3 候補地の絞り込み方法(案) … 8ページ

いずれも現時点の案として示しているものです。
内容に関する意見などがありましたら、組合までお寄せください。

一関地区広域行政組合 総務管理課
TEL 21-2111(内線 8751)



1 施設整備基本方針（案）

新処理施設と新最終処分場の整備を進めるに当たり、どのような施設にするかという考えを現時点での案としてまとめました。

現時点での案は、次のとおりです。

この案は、さらに検討を進めていくこととしています。

(1) 新処理施設

① 安定性に優れた安全な施設

- ・ 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
- ・ 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設

② 環境に配慮した施設

- ・ 環境負荷の低減と施設周辺の生活環境の保全に配慮した施設
- ・ 廃棄物の適正処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設

③ 廃棄物を資源として活用できる施設

- ・ 廃棄物をエネルギー資源やリサイクル資源として活用できる施設

④ 災害に強い施設

- ・ 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設

⑤ 経済性に優れた施設

- ・ 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

(2) 新最終処分場

① 安定性に優れた安全な施設

- ・ 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
- ・ 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設

② 環境に配慮した施設

- ・ 環境負荷の低減と施設周辺の生活環境の保全に配慮した施設
- ・ 廃棄物の適正処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設

③ 災害に強い施設

- ・ 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設

④ 経済性に優れた施設

- ・ 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

2 各候補地の建設場所の検討状況

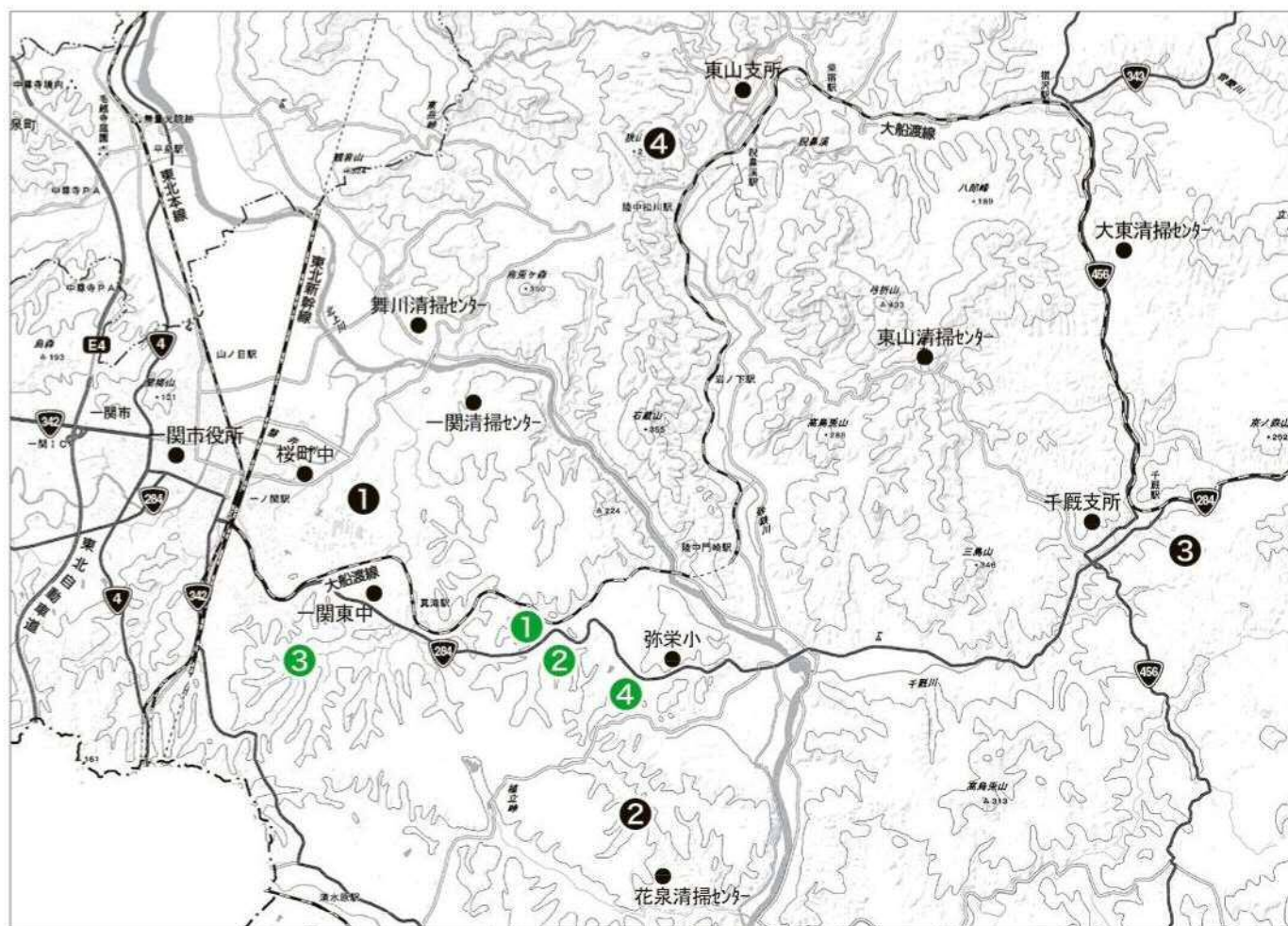
新処理施設と新最終処分場のそれぞれの候補地について、地図上で建設場所を検討しました。

新処理施設の敷地面積は最大5ヘクタール程度、新最終処分場の埋立容量は最大17万8,000立方メートル程度としています。

4ページから7ページで示している建設場所は、2,500分の1の地図の地形を基に検討したものであり、今後、現地調査などの詳細な調査を行い、見直しすることとしています。敷地面積や埋立容量についても、さらに検討を進めます。

次回の住民説明会では、取付道路のルートなども含めて示したいと考えています。

候補地の位置



国土地理院の電子地形図（タイル）に候補地の位置を追記して掲載

新処理施設の候補地

①	一関市滝沢字石法華ほか
②	一関市滝沢字道目木ほか
③	一関市真柴字堀場ほか
④	一関市弥栄字一ノ沢ほか

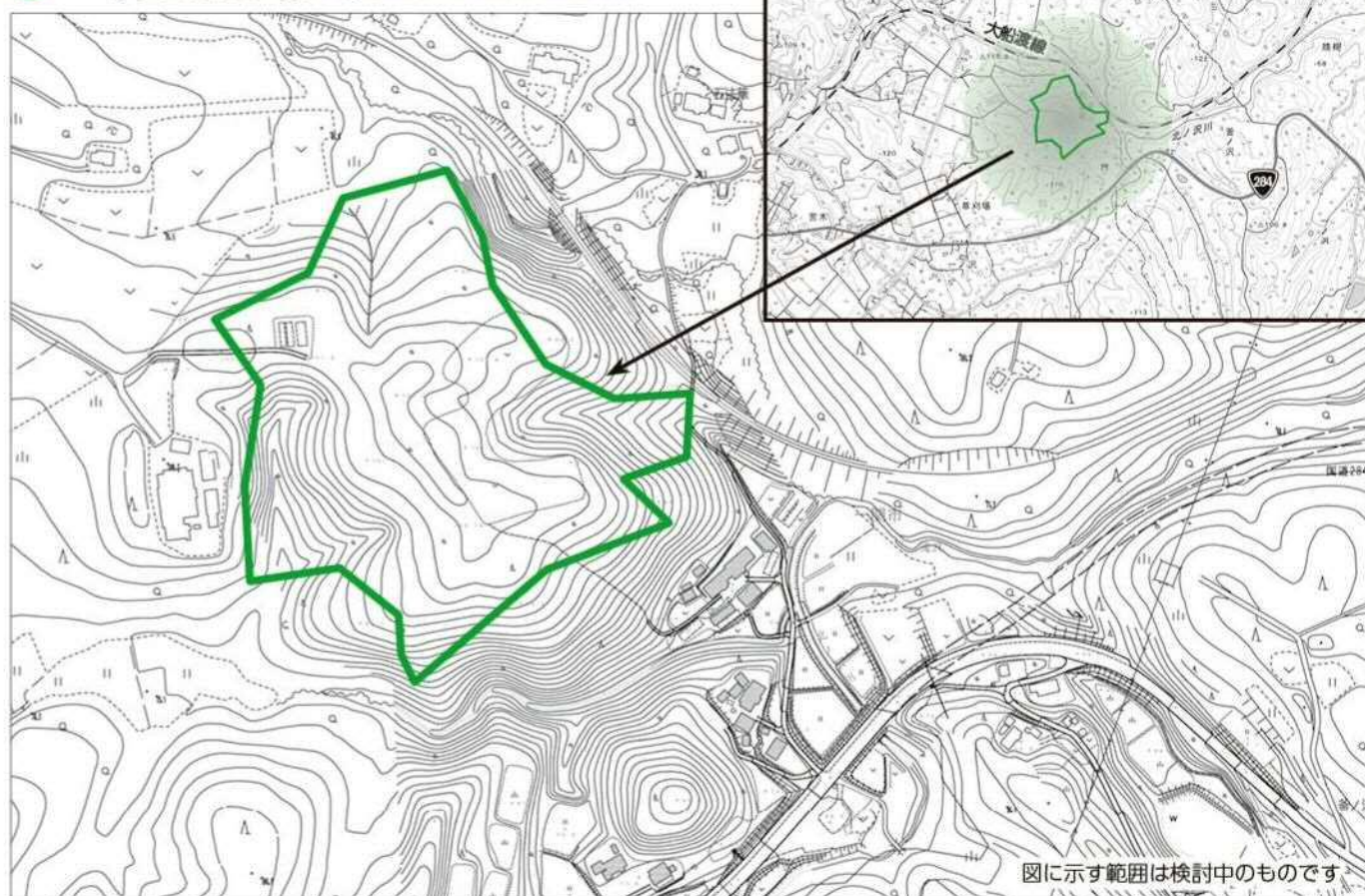
新最終処理場の候補地

①	一関市滝沢字駒場ほか
②	一関市花泉町金沢字長沢ほか
③	一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか
④	一関市東山町長坂字長平ほか

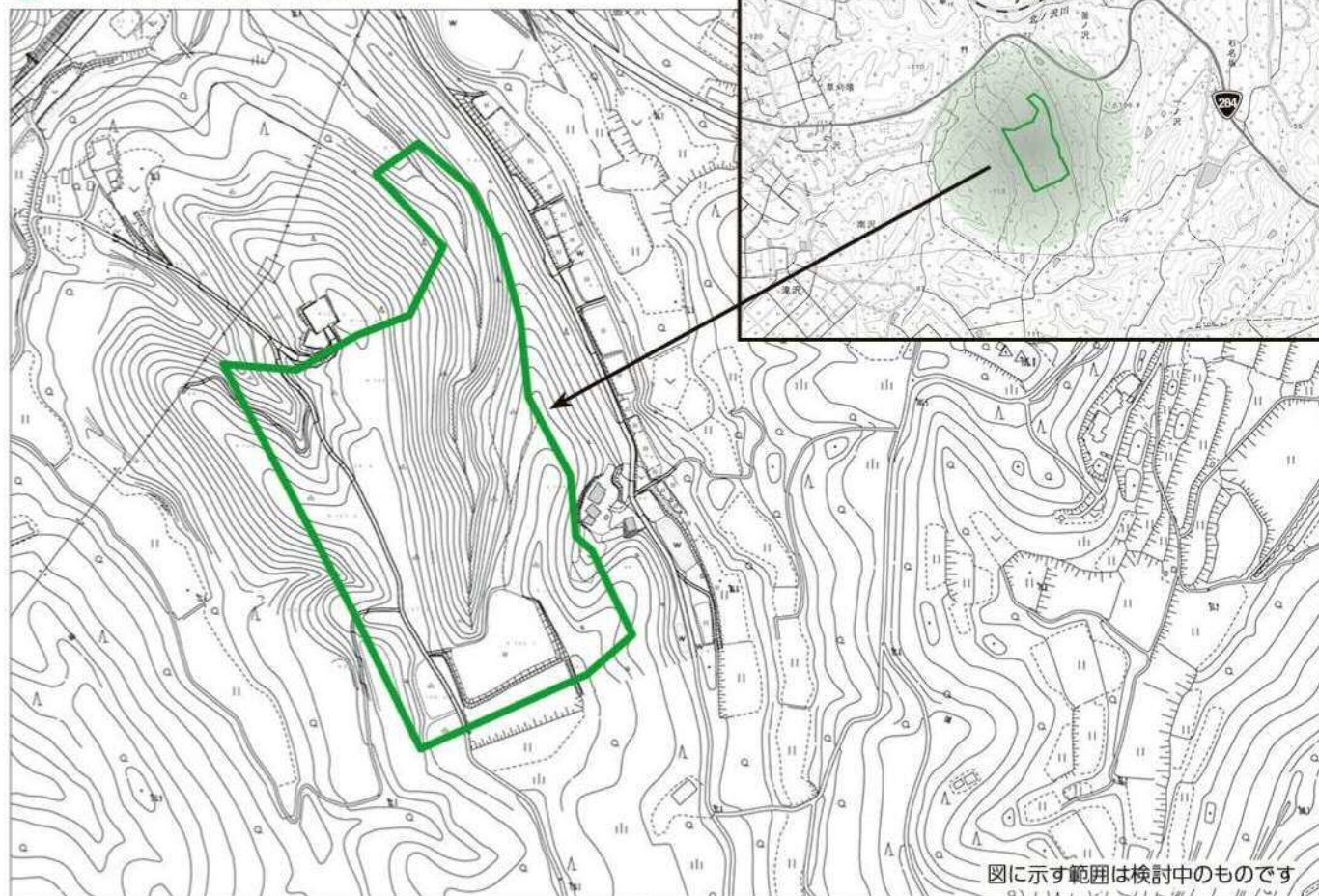
(1) 新処理施設 ※ ()内は建設場所の主な字名

① 一関市滝沢字石法華ほか (滝沢字石法華)

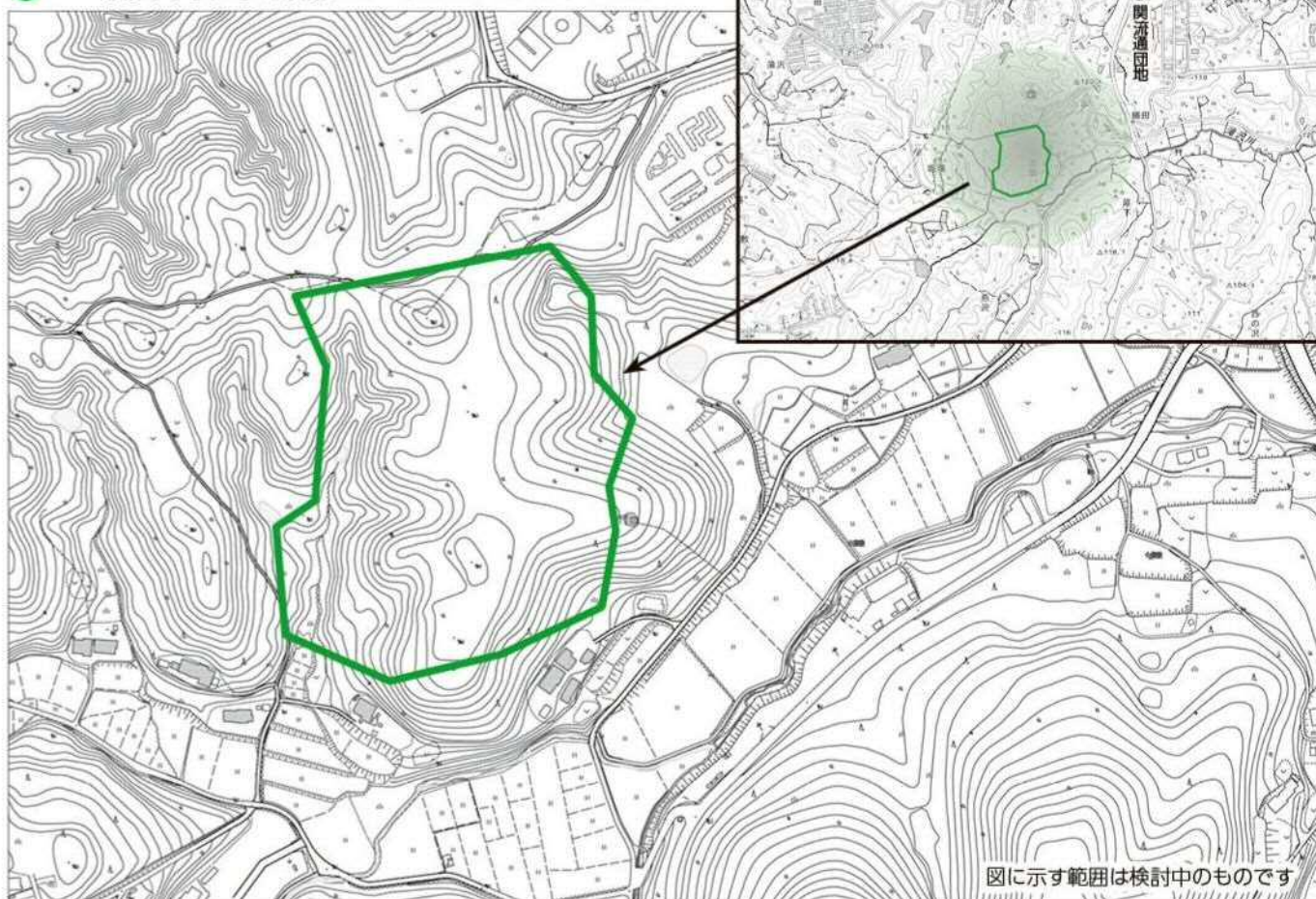
★：国土地理院の電子地形図(タイル)に候補地の位置を追記して掲載



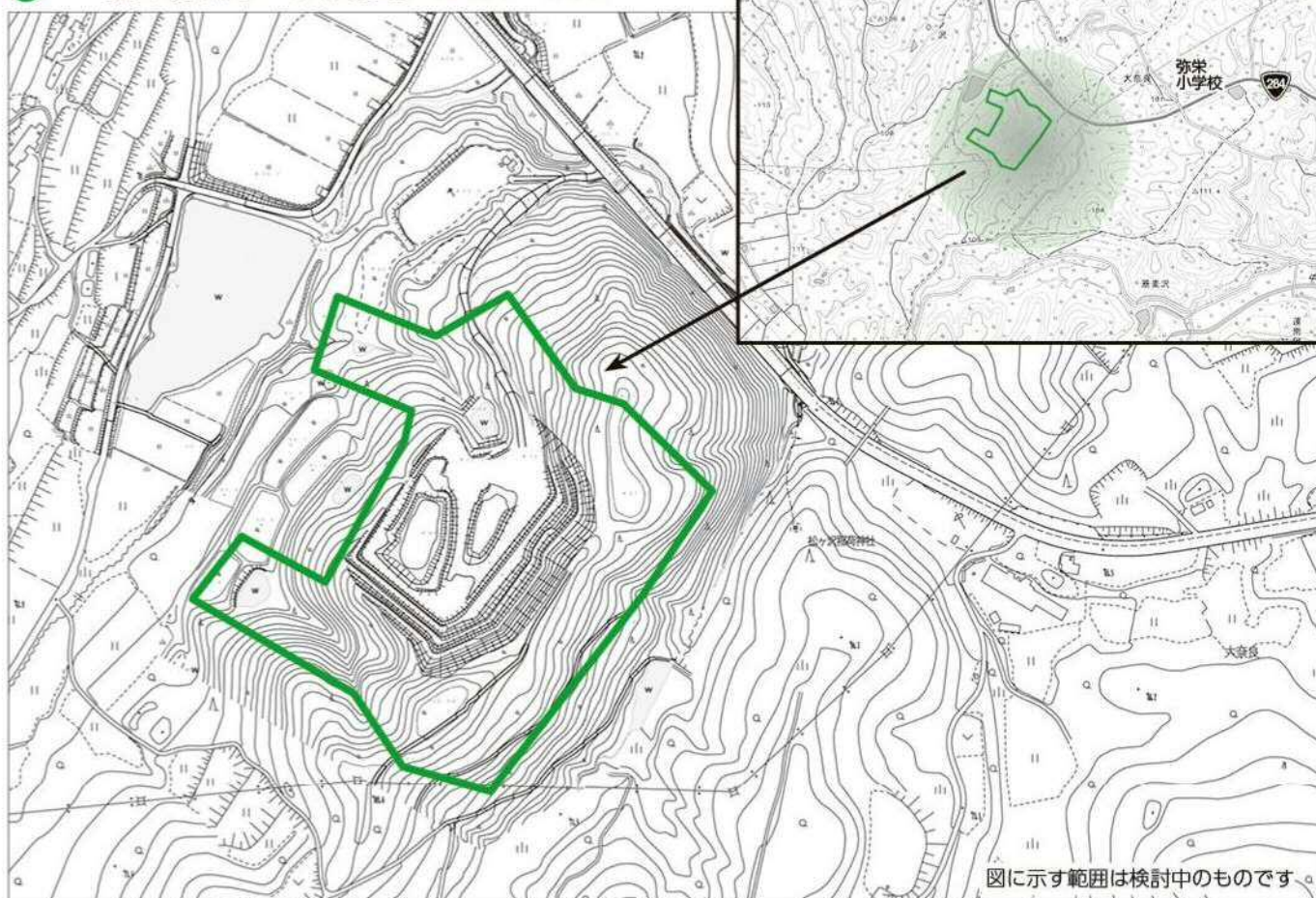
② 一関市滝沢字道目木ほか (滝沢字石法華)



③ 一関市真柴字堀場ほか（真柴字中屋敷・堀場）



④ 一関市弥栄字一ノ沢ほか（弥栄字一ノ沢）

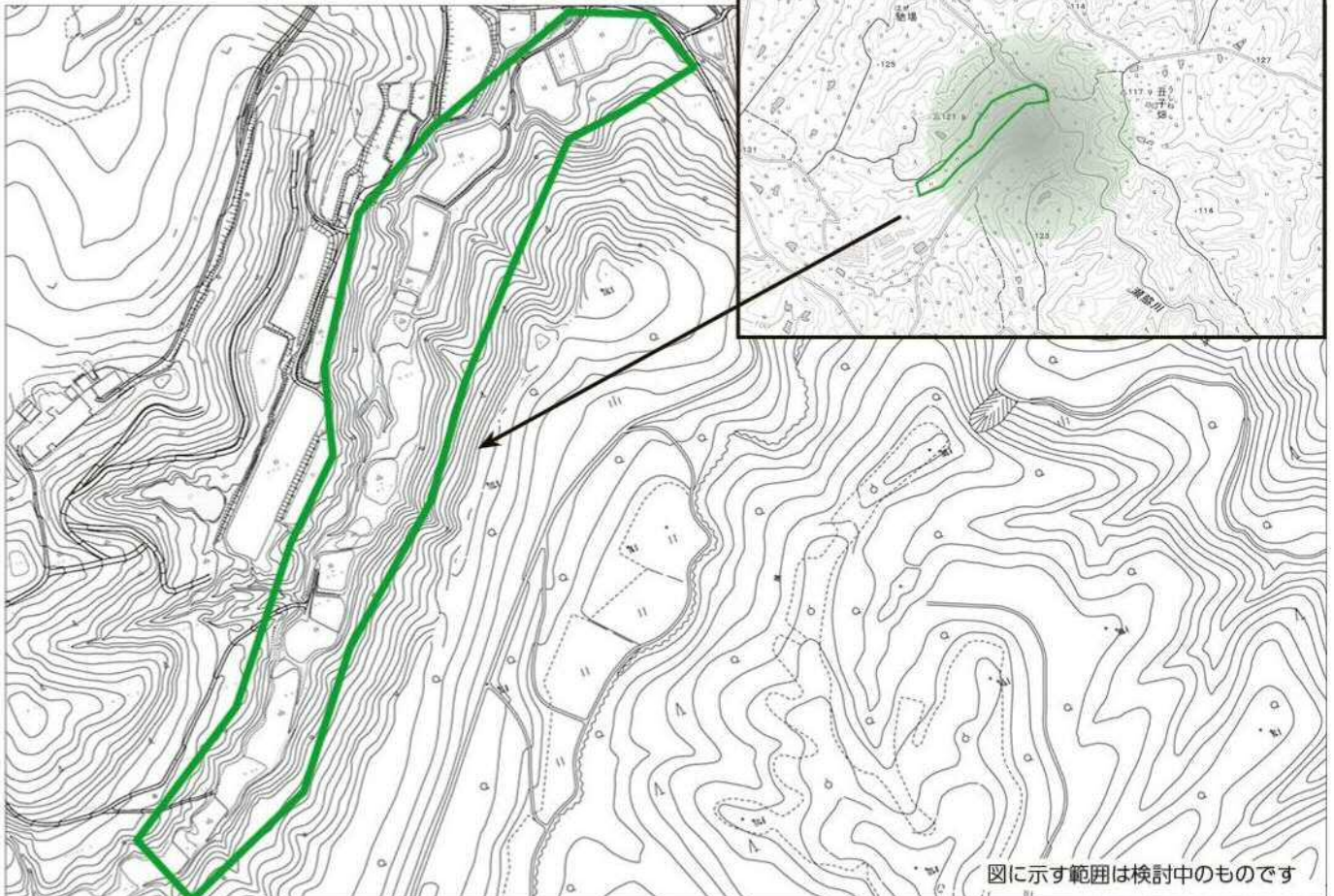


(2) 新最終処分場 ※ () 内は建設場所の主な字名

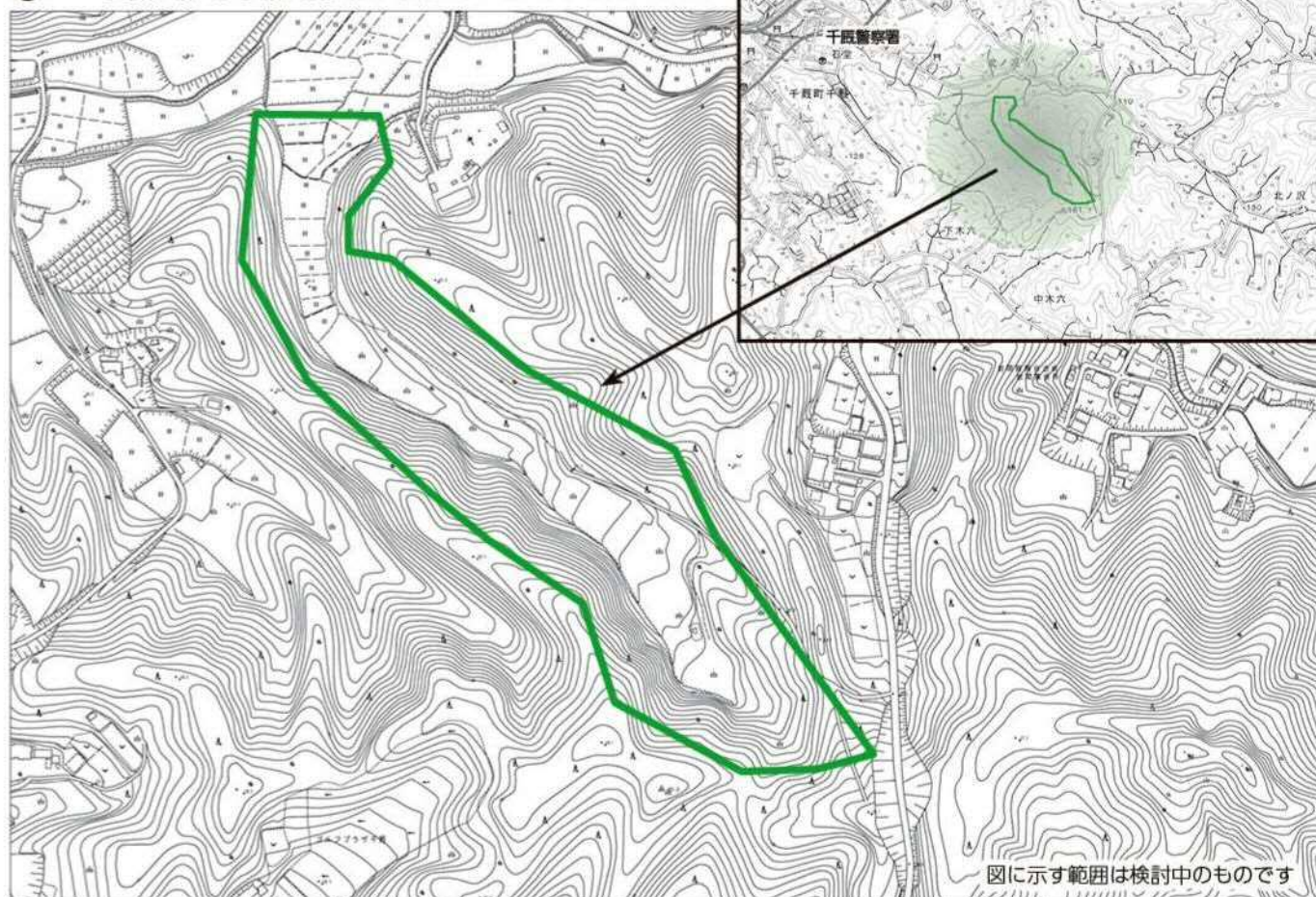
① 一関市滝沢字駒場ほか(滝沢字駒場)



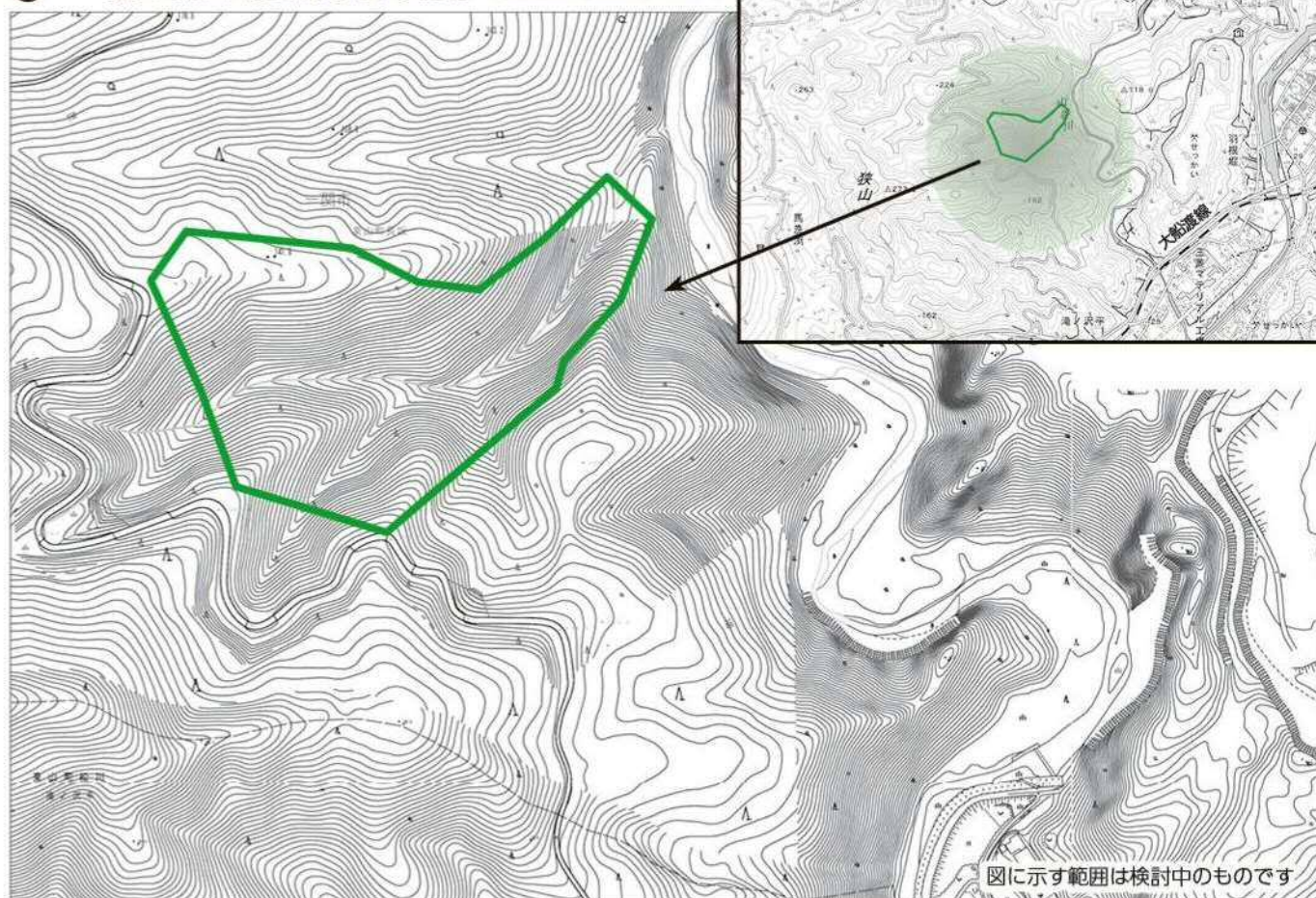
② 一関市花泉町金沢字長沢ほか(花泉町金沢字馳場)



③ 一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか（千厩町千厩字北ノ沢）



④ 一関市東山町長坂字長平ほか（東山町長坂字長平）



3 候補地の絞り込み方法（案）

新処理施設、新最終処分場ともそれぞれ4か所の候補地から令和2年度中にそれぞれ1か所の整備予定地を決定することとしています。

整備予定地を決定するに当たり、候補地を絞り込むため、次のような方法を検討しています。

これらの方法については、さらに検討を進めていくこととしています。

(1) 候補地の絞り込み方法

- ① 比較検討する項目を設定し、数値化できる項目は数値化して比較評価する。
- ② 数値化できない項目は、利点、課題などを整理して比較評価する。
- ③ ①及び②の総合評価により候補地の絞り込みを行う。

(2) 比較検討する項目

① 新処理施設

施設整備基本方針（案）	比較検討する項目
安定性に優れた安全な施設	受電環境、給水環境、その他考慮すべき事項
環境に配慮した施設	交通安全、景観との調和、その他考慮すべき事項
廃棄物を資源として活用できる施設	資源の活用先、その他考慮すべき事項
災害に強い施設	想定される災害の種類、施設建設の阻害要因 その他考慮すべき事項
経済性に優れた施設	造成費・取付道路整備費・用地取得費などの初期費用 運転管理費・収集運搬費などの維持費用、その他考慮すべき事項
その他	総合計画・土地利用計画との整合性、利用者の利便性 協働による地域づくり、その他考慮すべき事項

② 新最終処分場

施設整備基本方針（案）	比較検討する項目
安定性に優れた安全な施設	受電環境、給水環境、その他考慮すべき事項
環境に配慮した施設	交通安全、排水環境、景観との調和、その他考慮すべき事項
災害に強い施設	想定される災害の種類、施設建設の阻害要因 その他考慮すべき事項
経済性に優れた施設	造成費・取付道路整備費・用地取得費などの初期費用 運転管理費・運搬費などの維持費用、その他考慮すべき事項
その他	総合計画・土地利用計画との整合性、利用者の利便性 協働による地域づくり、その他考慮すべき事項

組合では、住民の皆様からいただいたご意見などを踏まえながら、より良い施設となるよう検討し、事業を進めてまいります。詳しくは、組合ホームページをご覧ください。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■問合せ先 一関地区広域行政組合 総務管理課

〒021-8501 一関市竹山町 7-2

TEL 21-2111 内線 8751 FAX 31-3224

一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>



施設整備基本方針（案）

一般廃棄物処理施設は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とした適正処理が求められてきた。

さらに、近年では処理技術の進歩及び循環型社会の進展から、廃棄物の処理過程で発生するエネルギーの高効率回収や災害対策の強化に資する施設としての役割も高まっている。

このような状況を踏まえ、新施設整備の基本方針を次のとおり設定する。

1 エネルギー回収型一般廃棄物処理施設（新処理施設）

(1) 安定性に優れた安全な施設

- ・ 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
- ・ 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設

(2) 環境に配慮した施設

- ・ 環境負荷の低減と施設周辺の生活環境の保全に配慮した施設
- ・ 廃棄物の適正処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設

(3) 廃棄物を資源として活用できる施設

- ・ 廃棄物をエネルギー資源やリサイクル資源として活用できる施設

(4) 災害に強い施設

- ・ 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設

(5) 経済性に優れた施設

- ・ 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

2 新最終処分場

(1) 安定性に優れた安全な施設

- ・ 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
- ・ 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設

(2) 環境に配慮した施設

- ・ 環境負荷の低減と施設周辺の生活環境の保全に配慮した施設
- ・ 廃棄物の適正処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設

(3) 災害に強い施設

- ・ 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設

(4) 経済性に優れた施設

- ・ 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

候補地の絞り込み方法（案）

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設、新最終処分場ともそれぞれ 4 か所の整備候補地から令和 2 年度中にそれぞれ 1 か所の整備予定地を決定するに当たり、候補地の絞り込み方法を次のとおりとする。

1 候補地の絞り込み方法

- (1) 比較検討する項目を設定し、数値化できる項目は数値化して比較評価する。
- (2) 数値化できない項目は、利点、課題などを整理して比較評価する。
- (3) (1)及び(2)の総合評価により候補地の絞り込みを行う。

2 比較検討する項目

(1) エネルギー回収型一般廃棄物処理施設（新処理施設）

施設整備基本方針（案）	比較検討する項目
① 安定性に優れた安全な施設	受電環境、給水環境 その他考慮すべき事項
② 環境に配慮した施設	交通安全、景観との調和 その他考慮すべき事項
③ 廃棄物を資源として活用できる施設	資源の活用先、その他考慮すべき事項
④ 災害に強い施設	想定される災害の種類、施設建設の阻害要因 その他考慮すべき事項
⑤ 経済性に優れた施設	造成費・取付道路整備費・用地取得費などの初期費用、 運転管理費・収集運搬費などの維持費用 その他考慮すべき事項
⑥ その他	総合計画・土地利用計画との整合性 利用者の利便性 協働による地域づくり その他考慮すべき事項

(2) 新最終処分場

施設整備基本方針（案）	比較検討する項目
① 安定性に優れた安全な施設	受電環境、給水環境 その他考慮すべき事項
② 環境に配慮した施設	交通安全、排水環境、景観との調和 その他考慮すべき事項
③ 災害に強い施設	想定される災害の種類、施設建設の阻害要因 その他考慮すべき事項
④ 経済性に優れた施設	造成費・取付道路整備費・用地取得費などの初期費用、 運転管理費・運搬費などの維持費用 その他考慮すべき事項
⑤ その他	総合計画・土地利用計画との整合性 利用者の利便性 協働による地域づくり その他考慮すべき事項

リサイクル施設の整備方針について

1 既存施設の状況

(1) 施設の概要

施設名	一関清掃センター リサイクルプラザ	大東清掃センター 粗大ごみ処理施設
竣工	平成 14 年 11 月	平成 11 年 8 月
整備費	1,372,350 千円	1,197,223 千円
処理能力	33 t / 5 h	18 t / 5 h
処理対象	・不燃ごみ ・不燃粗大ごみ ・資源ごみ ビン 缶 ペットボトル 容器包装プラスチック 発泡スチロール	・不燃ごみ ・不燃粗大ごみ ・資源ごみ ビン 缶 ペットボトル 容器包装プラスチック 白色食品トレイ ・可燃粗大ごみ
年間処理量	2,445 t / 年	1,354 t / 年
備考		焼却施設と一体

(2) 処理状況

種別	現状		計画 収集	主な処理方法					出荷先・ 最終処分
	一関	大東		破碎	混入物除去	分別	減容化	梱包	
資源	びん		○		○	色別			容リ協※2
	ペットボトル		○		○		圧縮	○	容リ協
	容器包装プラスチック		○		○		圧縮	○	容リ協
	発泡スチロール	白色トレイ	○		○		溶解	○	地元業者/容リ協
	缶		○		○	素材別	圧縮		地元業者
不燃	※1	紙	○		○			○	地元業者
	不燃		○			資源ビークアップ			最終処分場
可燃	不燃粗大			○		資源ビークアップ			最終処分場
		可燃粗大		○					焼却施設

※1 一関清掃センター管内の紙資源ごみは、収集後にリサイクル施設を介さず業者へ

※2 容リ協：容器包装リサイクル協会

(3) 稼働状況（稼働日数を 245 日とした場合）

① 一関清掃センター

	不燃	不燃粗大	びん	缶	ペットボトル	容器包装 プラスチック	発泡スチロール	計
処理能力 (t/5h)	16.6	11.2	2.5	1.6	0.5	0.6	0.05	33.05
H30 搬入量 (t/y)	974.98	255.59	591.76	162.18	146.93	313.6		2,445.04
稼働率	24.0%	9.3%	96.6%	41.4%	119.9%	196.9%		30.2%

② 大東清掃センター

	不燃	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	ペットボトル	容器包装 プラスチック	計
処理能力 (t/5h)	2.8	2.7	3.4	4.0	4.9	0.2	2.5	20.50
H30 搬入量 (t/y)	487.58	396.65	119.69	411.43	99.96	88.27	147.42	1,751.00
稼働率	71.1%	60.0%	14.4%	42.0%	8.3%	180.1%	24.1%	34.9%

2 検討事項

- (1) 分別方法と住民サービス、各市町のリサイクルに対する施策との連携
- (2) 収集方法と住民サービス、各市町のリサイクルに対する施策との連携
- (3) 施設統合の必要性
- (4) 民間業者の活用の可能性
- (5) 既存施設の用途廃止の可否

※ 環境大臣への報告をもって補助金返還を要せず施設の処分が可能な場合の条件：当該事業に係る社会資源が充足し、経過年数 10 年以上の場合（「環境省所管の補助金等で取得した財産の処分承認基準」（平成 20 年 5 月 15 日大臣官房会計課長））

※ 施設の耐用年数：38 年（工場用鉄筋コンクリート造の建物、「減価償却資産の耐用年数に関する省令」（昭和 40 年大蔵省令第 15 号））

- (6) 既存施設廃止後の利活用方法、解体費用等

（参考） 地方債の償還状況

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ① 一関清掃センター（リサイクル施設災害復旧） | 令和 4 年 3 月償還完了 |
| ② 大東清掃センター（ストックヤード等建設） | 令和 5 年 9 月償還完了 |

3 整備時期の判断の要点

- (1) 性能が必要十分に発揮されているか
- (2) 部品や設備の交換頻度と修繕費のバランス
- (3) 交換部品の調達の困難具合
- (4) 施設集約による効率化

4 施設整備方法

・ 整備方法の検討

リサイクル施設について、一般廃棄物処理基本計画では、「現施設を維持管理し、当面は安定的な処理を推進していくが、将来的な整備方法についても検討する」としている。

また、廃棄物処理基本構想では、「現段階においては、現行の処理体制を維持する（①）が、エネルギー回収型一般廃棄物処理施設の整備を計画する上では、以下の 2 パターン（②、③）の整備方法についても検討する必要がある」としている。

以上のことから、次の 3 つの方法を基本として検討する。

- ① 現行の処理体制を継続
- ② 新処理施設整備に併せ、大東のリサイクル施設を廃止し、現在の一関のリサイクル施設を基幹的設備改良
- ③ 新処理施設の整備に併せ、新設

視察について

施設整備の検討を進めるに当たり、以下の方法のいずれか又は組み合わせにより視察等を実施する。

1 他市町村への視察

- (1) 実施時期 5 月実施を想定

【課題】新型コロナウイルスの終息状況による。

- (2) 視察先 別紙一覧のとおり

- (3) 日 程

- ① 県内または東北圏内：日帰り（2 施設程度）
- ② 関東、その他の地域：1 泊 2 日（1～2 施設）

- (4) 内 容

処理方式や余熱活用方法の具体的な内容、課題や利点等を視察する。

→着眼点について、事務局で項目を整理する。

2 管内施設の視察

- (1) 実施時期 4 月実施を想定

- (2) 視察先

- ① 一関清掃センター焼却施設、リサイクル施設
- ② 大東清掃センター焼却施設、粗大ごみ処理施設

- (3) 日 程 4 月中に半日程度、時間を確保し実施

- (4) 内 容

処理方式等について理解を深める。

→着眼点について、事務局で項目を整理する。

3 学習会

- (1) 実施時期 4 月または 5 月実施を想定

- (2) 内 容

- ・ 視聴覚資料（DVD、パワーポイント等）による学習会
- ・ 専門家による講義を想定
- ・ 処理方式等について理解を深める。